

# 衆議院経済産業委員会ニュース

平成 25.11.6 第 185 回国会第 3 号

11 月 6 日（水）、第 3 回の委員会が開かれました。

## 1 経済産業の基本施策に関する件並びに私的独占の禁止及び公正取引に関する件

- ・ 茂木経済産業大臣、松島経済産業副大臣、赤羽経済産業副大臣、伊藤内閣府大臣政務官、田中経済産業大臣政務官、浮島環境大臣政務官、田中原子力規制委員会委員長及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。

（参考人）東京電力株式会社代表執行役社長

廣瀬直己君

（質疑者及び主な質疑内容）

### 八木哲也君（自民）

- ・ 燃料電池自動車の普及に向けて、水素ステーション等のインフラ整備及び関連規制の緩和並びに燃料電池自動車を開発するトップランナー企業の支援をどのように行っていくのか。

### 江田康幸君（公明）

- ・ 再生可能エネルギーの導入加速を目指す上での課題となっている送電網の整備及び出力変動への対策を、政府としてどのように進めていくのか。

### 辻元清美君（民主）

- ・ 福島第一原発 4 号機からの使用済核燃料の取出し作業に際しては、核燃料輸送容器について 32 メートルの高さからの落下実験を行う必要があるのではないかと。
- ・ 福島第一原発に要する賠償や除染費用については安易に国民負担とするのではなく東京電力の責任を明確化させるべきではないかと。

### 奥野総一郎君（民主）

- ・ 汚染水貯留タンクから降雨水が溢水したが、タンクの設置場所の傾斜を認識していたのであれば、全てのタンクに水位計を設置する必要があったのではないかと。
- ・ 汚染水処理及び廃炉の着実な実行の観点から東京電力の分社化等新たな組織体制の構築を行うべきと考えるが、茂木経済産業大臣の見解を伺いたい。

### 大西健介君（民主）

- ・ 消費税率上げは自動車販売台数や雇用等に多大なマイナス影響を及ぼすことが懸念されるため、車体課税の抜本的見直しを行うべきではないかと。
- ・ 次世代自動車として期待が集まる燃料電池自動車について、我が国が高い世界シェアを持つ産業用車両（フォークリフト等）の導入支援策を講じる必要があるのではないかと。

### 青柳陽一郎君（みんな）

- ・ アベノミクスの第 3 の矢である成長戦略が市場に十分なインパクトを与えているかどうかにつき、茂木経済産業大臣の認識を伺いたい。
- ・ 政府が目指している企業が世界で一番活動しやすい国にするためにはどの程度の法人税率が適切と考えるか、茂木経済産業大臣の見解を伺いたい。

### 木下智彦君（維新）

- ・ 福島第一原発で頻発するヒューマンエラー防止のためには、政府として国民向けに作業環境等の改善が有用であることを宣言するべきではないかと。
- ・ 原発構内における作業環境改善のための、防護服等の未着用エリア拡大に資する政府主導の構内除染の実施の是非に関する茂木経済産業大臣の見解を伺いたい。

## 丸 山 穂 高君（維新）

- ・自民党の復興加速化本部において汚染水対策に国費を投入すべきとの提言がなされたが、政府において汚染水対策事業に対する国費の投入を検討しているのか。
- ・泉田新潟県知事の「柏崎刈羽原発の再稼働については議論に入る前提にも届いていない。福島第一原発事故の検証・総括をまず行うべき」旨の発言に対する茂木経済産業大臣及び参考人の所見を伺いたい。

## 塩 川 鉄 也君（共産）

- ・汚染水対策等に従事している作業員の賃金が、最低賃金と除染作業における特殊勤務手当の合計を下回っていることで、人員の確保が困難になるのではないか。
- ・汚染水対策等に従事する作業員の賃金を引き上げるべきではないか。また、東京電力が賃金額のアンケート調査を行わない場合には国が行うべきではないか。

## 2 産業競争力強化法案（内閣提出第3号）

- ・茂木経済産業大臣から提案理由の説明を聴取しました。
- ・参考人から意見を聴取することに協議決定しました。